

開講学科	総合デザイン工学科	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		—				
科目名	環境デザイン II/アーバンスケープデザイン	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		4年次	選択	18111501/18110001		
担当教員	杉浦 榮	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	後期	水曜日	6時限	
授業の教育目的・目標	<p>・環境デザインにおける多様な要素を客観的かつ包括的に捉え、潜在資源と現状課題を抽出する調査と分析の手法を習得する。</p> <p>・調査・分析の結果から対象地のあり方を想起していく手法とプロセスを学び、潜在資源を活かし現状課題を解決する持続的な都市や環境にむけて、提案・実践する力を養う。</p>					
学科の学修・教育目標との関係	<p>コミュニティデザイン/環境デザイン I、都市計画、都市デザイン、建築計画、建築設計、インテリアデザイン、プロダクトデザインなどのデザイン関連科目における学修を踏まえ、各分野に関わる環境デザインの課題を横断的に考察・俯瞰し、統合的なデザイン思考を養う。</p>					
キーワード	<p>環境と都市 環境と社会 サステナブルデザイン ランドスケープアーバニズム SDGs 等</p>					
授業の概要	<p>環境デザインにおける実践的な手法とプロセスを学ぶ。具体的な対象地を設定し、包括的かつ体系的な調査・分析から潜在資源と現状課題を抽出し、広域構想から持続的な都市や環境を構成するデザイン提案を行う。前半期には包括的な地域調査と参照しうる事例調査を、中間期には具体的な提案にむけて広域構想から展開するデザイン提案への議論を行い、後半期には対象地への具体的なデザイン提案の検討を進め、最終発表と講評会を行う。</p>					
授業の計画	<p>第1回： 環境をデザインするとは？II (授業のガイダンス)</p> <p>第2回： 地域調査1 対象地の調査・分析範囲の設定</p> <p>第3回： 地域調査2 情報構築と図化(マッピング)手法</p> <p>第4回： 地域調査3 現地調査(フィールドワーク)</p> <p>第5回： 地域調査4 潜在資源と現状課題の抽出</p> <p>第6回： 参照事例の調査と対象地への示唆</p> <p>第7回： 中間発表：地域調査の分析結果と広域構想の発表と講評</p> <p>第8回： 広域構想から中域構想へ</p> <p>第9回： 中域構想から小域構想へ</p> <p>第10回： 小域構想から対象地への計画提案へ</p> <p>第11回： 計画提案の具体化と展開</p> <p>第12回： 計画からデザインへ</p> <p>第13回： 全体デザインから部分デザインへ</p> <p>第14回： 最終提案のとりまとめと整理、プレゼン準備</p> <p>第15回： 最終発表：対象地への提案 発表及び講評、提出</p>					
受講条件・関連科目	<p>受講条件：下記の関連科目を受講済または受講予定していることが望ましい。(特に下線科目)</p> <p>関連科目：<u>コミュニティデザイン/環境デザイン I</u>、<u>デザイン演習 III</u>、都市デザイン、都市計画、建築計画、建築設計、インテリアデザイン等</p>					
授業方法	<p>講義と実習及び議論。調査・分析、中間・最終課題の発表及び講評。</p> <p>学生の課題への取組みと発表及び議論を主としたアクティブラーニング方式で行う。</p>					
テキスト・参考書	<p>講義時に指示する。</p>					
成績評価	<p>・試験(60%) ・レポート(40%) ・その他 注意事項(中間及び最終発表を試験、各課題への取組み及び議論への参加をレポートとみなす。)</p>					
履修上の注意	<p>・受講者には、環境デザインへの興味、積極的な履修態度、活発な議論への参加、自主的な課題への取組みを期待する。</p> <p>・課題は、場合により UDC 等のコンペ概要を参照したグループワークとし、実践的な提案力を習熟する。</p>					